

(様式2(1))

事業所名 グループホームやすらぎの郷

目標達成計画

作成日: 平成 27年 8月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	* 現状 家族や親戚などの訪問も多く、トライやるの受け入れ、傾聴ボランティアの訪問など地域とのふれあいの場は増えつつある。 * 問題点 外部からの訪問などが理解できにくく混乱の原因となることがある。ADLの低下により外出が負担となる入居者も数名いる。 * 課題 職員が地域資源導入の理解が浅く、入居者との橋渡しができるだけの余裕がない。	地域との交流が活発にできる。	・職員が日常業務に追われてしまうのでなく、余裕を持って入居者と関わりが持てるよう業務分担内容の見直しをする。 ・外部との交流の機会を増やし、地域に出て行く為にも介助ボランティア等の利用を積極的に言い混乱なく過ごせるようにする。	12ヶ月
2	26	* 現状 入居者、家族との会話の中から要望や意向を聞き出して計画を作成している。 * 問題点 計画実現に向けて支援しているが記録としてあらわれていない。 * 課題 介護記録の書き方が統一できていない。	介護計画達成に向けてサービス提供実施が表現できる記録がかける。	・介護計画書の内容の理解と、介護計画に沿ったサービス提供記録が書けるよう、職員のスキルアップ研修に参加する。	12ヶ月
3	49	* 現状 体力的な問題もあり全員で外出できない場合もあるが出来るだけ外出の機会を増やす努力はしている。 * 問題点 体力、意欲に個人差がある。 * 課題 個別対応が必要な為、職員の手が足りない。	定期的に外出の機会を提供する。 入居者の思いに沿えるよう、工夫と努力を継続する。	・入居者の個々の要望に沿えるよう日頃から入居者との関わりを深め、意向をつかむ。 ・集団にこだわらず、個別対応で少人数ずつの外出やドライブの機会を増やしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。